

科目責任者 病院実習委員長

■ 教育目的

病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

■ 学習到達目標

1. 病院を理解する。

病院における診療システム、病院内の他部署の業務内容と薬剤師業務との関連、また、薬業連携について理解し、説明できる。

2. 的確に情報を収集し、評価、加工、提供できる。

患者・医薬品・治療法に関する情報の収集方法の特徴、長所、短所を学び、必要な情報を的確な方法を使って収集し、評価、加工、提供できる。

3. 薬剤師の業務を理解し、適切に実践できる。

外来・入院調剤、注射薬調剤、院内製剤の調製、医薬品の供給・管理・保存、安全対策、服薬指導、病棟業務などの薬剤師業務を理解し、患者・医薬品・治療法に関する情報を活用して適切に実践できる。

4. 実習中に発見した課題を検討し解決の方策を提案できる。

実践を通して問題点を抽出し、解決するための情報を収集して、解決策を検討、提案・討論できる。(対象：薬剤師、医師、看護師、患者、医療チームの構成員など)

5. 医療人としての倫理規範、薬剤師の果たすべき役割を理解し、行動できる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：汎用医薬品について調べておく。

復習：実習中の疑問点をその都度解決する。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
実習前	学内オリエンテーション	実習心構え	
1～11	各実習施設にて指導薬剤師指導のもと実習	モデル・コアカリキュラムに沿って実習	H101-127 H201-206 H301-307 H401-408 H501-504 H601
実習後	学内報告会	実習報告会	

■ 成績評価方法

実習中の出席状況（25％）、病院の指導薬剤師による所見・評価（25％）、実習記録の内容・担当教員との事後面談（25％）、実習報告会での発表および出欠席（25％）をもとに総合的に判定する。

■ その他

*実習施設により、内容が多少変更になる場合があります。